

# 檮だより

2019. 7. 20



7月20日1時間目、夏休み前の全校集会で話をしました。でも、とても暑かったので、前半は省略し、後半の「夏」と「ヨット」のところだけを話しました。ここでは全文を載せておきます。

## 「針路」は決めるのは自分！

明日から夏休みになります。4月からのおよそ4ヶ月間、いろんなことがあったと思いますが、皆さんに聞きます。皆さんは、自分が少しは成長できたと思いますか？

塞翁が馬とよく言いますが、生きていると色々な出来事に遭遇します。でも、出来事そのものには実は幸不幸はないのです。それが幸か不幸か、決めるのは人間です。だから、どんなことでも受け止めて、自分が成長する糧にすればよいのです。

夏休みというものがなぜあるのか、いろんな説がありますが、やはり高温多湿の日本の気候ではこれからの1ヶ月は授業が難しいからと考える人が多いようです。でも、私は、夏休みは子どもが成長するために、とても大切な時間だからあるのだと思っています。

私の息子は小学校の頃、夏休みのたびに、虫取り、川遊び、里帰り、旅行、思い切りいろんな体験をしていました。私は、毎年夏休み最後の日に、「夏休み、楽しかったね」と言うことにしていました。息子は必ず「うん」と力強く頷きます。続いて私が、「明日から、また学校、頑張ろうね」というと、また「うん」と大きく頷くのです。これを6年間繰り返しました。毎年同じ「うん」が返ってきました。多分息子は、夏休みに沢山の体験をして、自分の時間を思い切り自由に使っていろんなことを学んで、納得したのだと思います。9月になってぐっと成長している息子を見て、私は、夏休みが子どもの成長にとって大切な時間だということを実感したものです。



皆さんは、小学生のように虫取りや水遊びをするわけではないと思いますが、夏休み、それぞれにやりたいことがあるはず。部活、留学、研修旅行、また、補習や宿題への取り組み、いろんなことが皆さんを待っています。皆さんも、思い切り自分の時間を自由に使って下さい。そして自分で納得のいく夏休みにしてください。

6年生は、最後の夏休み。受験に向けて今ひたむきに頑張っていることと思います。受験勉強は苦しいかもしれないけれど、純粋に勉強に打ち込めるときは、人生の中でそんなにたくさんありません。私の教え子の中には、自分で生活費を稼ぎながら学校に通っている生徒もいました。世の中にはそんな人も沢山います。でも、多分、皆さんの多く

は、学校に通うために仕事をする必要はなくて、とりあえず勉強に専念できるはずです。生活の心配をすつとなく勉強できることは幸せなことです。だから、勉強できるときにしっかりと学んで、それを将来社会のために役立てようとするべきです。勉強したくても出来ない人がいない世の中になるように。



どんなことも前向きに、プラスに考えること。これが大事です。2年生の皆さんには学年集会で「夏は涼しい季節だ」という話をしたと思います。「涼しい」と感じ、「涼しい」という言葉を使うのは夏だけです。冬にはだれも涼しいとは言いません。涼しさを一番喜べる季節が夏なので

す。「暑い、暑い」と言つて、夏の嫌なところだけを見て文句を言うか、暑い夏だから涼しさを感じられるのだと考えて、夏のよさを発見できるか、人の大きさはそこで決まるのだと思います。

「皆さん、夏は涼しい季節ですよ」。私が高校2年だったとき、夏休み前の終業式で、校長先生が優しく語りかけてくれたこの言葉は、私の心に今も刻み込まれています。

最後に、ヨットの話をしてします。先日テレビを見ていたら、ハワイの特集があり、ホクレア号という大型ヨットとその船長であるナイノアさんという方が映つていて驚きました。私は、ナイノア船長と会つたことがあるのです。このホクレア号は、エンジンもレーダーもなく、ナイノア船長が空の星の位置と潮の流れを見て針路を決め、大きな帆に受ける風の力で進みます。15年くらい前に初めてハワイから日本への航海に挑戦し、見事成功させました。広島にも寄港し、私はそのとき受け入れ側の一員でした。台風の影響や海流の関係で到着がずれ込み、はらはらしたことを覚えています。それは、ヨットが動力を持たず、動かすには潮の流れや風が必要だからです。



ホクレア号

ところで、星の位置も、潮の流れも、風も、どのヨットにも平等です。あるヨットの周りだけ潮の流れがいつも速く、あるヨットにだけ風が吹くわけではありません。でも、ヨットは西にも行けるし、東にも行ける。風上にも行けます。それは、ヨットの針路を決めるのは、星や潮や風ではなく、人だからです。人が、星の位置を確かめ、潮目を見、風の方向をかぎつて針路を判断し、帆を操るからです。ホクレア号でなくても、大きなヨットは沢山ありますが、ナイノア船長がいなければ、どんなヨットもおそらく日本にたどり着くことはできないでしょう。

夏休みは誰にも平等にやってきます。でも、それをどう使い、どつちに進むか、決めるのは皆さん自身です。皆さん一人ひとりが、自分のヨットの針路を決めるナイノア船長なのです。皆さんの夏休みが有意義であること、終わったとき、自分の過ぎた時間に納得し、自分自身の成長を実感できる夏休みであることを心から願っています。